

# 富山大学 国語教育

第44号

米田猛先生 退職記念号

はじめにー献辞ー	清水 晃	(1)
米田猛先生略歴		(2)
米田猛先生著作目録		(3)
贈る言葉 米田猛先生との思い出	萩中奈穂美・上不理恵・山田範子	(13)
<hr/>		
「語感」指導こそ語彙指導 <sup>かなめ</sup> の要	米田 猛	(16)
「話すこと・聞くこと」における目的・相手意識を高める指導の工夫	松原 央明	(24)
喪失とモラトリアム —村上春樹「イエスタデイ」「独立器官」「シェエラザード」—	東海 義仁	(32)
無気力なファンタジー —安房直子童話の一面—	西田谷 洋	(40)
児童の「話し言葉」使用語彙の学年別発達	宮城 信	(48)
国語教育学における授業研究の動向 —文学的文章を扱った実践を対象とした授業研究に焦点を当てて—	武田 裕司	(61)
修士・卒業論文概要		(76)

令和元年11月

富山大学国語教育学会

# 富山大学国語教育学会規則

## 第一条

(名称) 本会は富山大学国語教育学会と称する。

## 第二条

(目的) 本会は国語教育及び国語・国文学等の研究を深めるとともに、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

## 第三条

(事業) 本会は前条の目的を達するため、次の事業を行う。

- 1 研究発表会(毎年十一月頃)
- 2 機関誌(『富山大学国語教育』)の年一回発行。
- 3 学術講演会、その他必要と認められるもの。

## 第四条

(会員) 本会は次の会員をもつて組織する。  
○ 富山大学人間発達科学部国語教育担当教員・同附属学校の国語科教員。

○ 富山大学の教員で、本会の趣旨に賛同する者。

○ 富山大学教育学部国語専攻の卒業生・大学院教育学研究科国語教育専修の修了生。

○ 富山大学人間発達科学部卒業生並びに人間発達科学研究科修了生・在學生で、本会の趣旨に賛同する者。

○ 富山大学人間発達科学部在學生で、本会の趣旨に賛同する者。

○ その他、本会の趣旨に賛同する者。

(会費) 会員は会費年額一〇〇〇円を納入する。

ただし、在學生は機関誌の購入をもつて会費に代え、卒業時には次年度分を前納する。

## 第五条

なお、本会の運営に必要な場合には、臨時会費(醸出金)を、機関誌発行に必要な場合には維持会費及び執筆者負担金を、いずれも総会の承諾を得て徴収することができる。

## 第六条

本会の会計年度は、毎年四月一日から始まり翌年の三月三十一日に終わる。

(役員) 本会に次の役員を置く。

会長一名、副会長・顧問若干名、幹事―各卒業年次二名、運営委員―若干名、会計監査委員―二名

1 会長は会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長不在の時はその任務を代行する。

3 顧問・幹事は運営方針を審議する。

4 運営委員は会務を担当する。

5 会計監査委員は会計を監査する。

## 第七条

(役員を選出)

1 会長は会員の推薦により、総会において選出する。

2 副会長以下の役員は、会長がこれを委嘱する。

3 役員任期は一年とする。ただし再任を妨げない。

## 第八条

(総会) 総会は年一回開催し、規則の変更、役員の変更、予算案・決算報告、その他の運営に関する事項を承認する。

必要に応じて、臨時総会を開催することができる。

## 第九条

(事務局) 本会の事務局は当分の間、富山大学に置く。

## 昭和三十三年

四月 六日議定

## 昭和四十七年

八月 六日修正

## 昭和五一年

八月 八日修正

## 昭和五六年

二月 一三日修正

## 昭和六二年

二月 一四日修正

## 平成二年

二月 一七日修正

## 平成十二年

二月 二日修正

## 平成一七年

二月 二日修正

## 平成二四年

二月 一〇日修正

## 平成二八年

一月 一二日修正

◇ 編集後記 ◇

「富山大学国語教育」第四十四号をお届けいたします。

本号は、『米田猛先生退職記念号』として刊行いたしました。先生は長年にわたって会長として本学会をまとめてくださいました。その貢献に謝意を表すべく、学会員一同が研究と指導実践の成果をまとめました。

国語科教育は言葉の教育であり、先生は長年『語感』指導』の重要性を説かれてきました。その成果が御著書『言語文化』の学習指導考究』として結実し、現場で日々子ども達と学び合う我々に多くの示唆を与えてくださいます。先生の今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

さて、新しい学習指導要領が発表され、小中高校とも移行期間に入っています。また、近年ICT教育の波が国語科へも押し寄せてきており、現場での早急な対応が求められています。我々は激動の中子ども達と一緒に進んでいかなければなりません。そのためにも、日々実践を積み重ねていくことが大切です。

それでは、本会の今後ますますの発展に向けて、会員の皆様の一層のご活躍を祈りますとともに、ご協力をお願い申し上げます。(草野)

編集委員会

草野 剛 (委員長)

大久保里美、長澤信行、

三國大輔、宮城 信

---

令和元年 11 月 10 日発行

富山大学 国語教育 第 44 号

編集兼発行者

〒 930-8555

富山市五福 3190 ☎ 076 (445) 6265

富山大学人間発達科学部内

富山大学国語教育学会 (振替) 00730-1-19991

代表 清水 晃

印刷所

富山市婦中町中名 1554-23

株式会社なかたに印刷 ☎ 076 (465) 2341

FAX 076 (465) 2340

---